



親子が明るく過ごすために

青少年健全育成講演会（2月7日）

ハイトピア伊賀で、恵泉女学園大学大学院教授の大日向雅美さんを講師に招き、「母親ひとりの“孤育て”から皆でささえる“子育て”へ」と題して講演会を行いました。講師は、育児のほとんどを母親がひとりでやっている現状があることを述べ、子育てには周りの人の温かい見守りがなければ解決できない問題がたくさんあり、周りの人は、まず母親の言葉や気持ちを聴くことが大切であると話しました。

この日は母親や子ども連れの家族などが参加し、子育て支援の大切さを学びました。

▼実際に受けた子育ての相談などを紹介し、今の母親たちの悩みについて話す大日向さん。



▲決勝戦は、中瀬 A と中瀬 B で行われました。

アタック No.1 !!

伊賀市長杯ソフトバレーボール大会(2月8日)

ソフトバレーボールを通して健康の増進を図り、スポーツに対する関心と理解を深めるとともに、大会を通して相互の親睦と体力づくりの推進を図る目的で、今回6回目の大会が開かれました。

ソフトバレーボールは、ゴム製のやわらかいボールを使って、バドミントンのダブルスコートで4人対4人で行われます。今回は、6チーム35人の参加がありました。

選手たちは、普段、使い慣れたボールよりも、大きくて、やわらかいボールの変化する動きにとまどいながらも試合を楽しんでいる様子でした。



◆粗大ごみをご自宅の玄関まで引き取りに伺います

粗大ごみの戸別収集～伊賀北部地区～

【問い合わせ】 廃棄物対策課
☎ 20-1050 FAX 20-2575

一般家庭から排出される家具・寝具類などの解体が必要な大型ごみや、発火危険物・解体困難物など集積場で収集できないごみを、ご自宅の玄関先へ収集に伺う粗大ごみ戸別収集事業（有料）を実施しています。

《出し方》

- ①電話で「伊賀北部粗大ごみ受付センター（☎ 20-1255）」へ申し込む。
 - ②収集手数料1点につき200円の「粗大ごみ処理券」を購入する。
 - ③申し込み時に予約した収集日に指定場所に出す。
- ※詳しくは昨年配付した『資源・ごみ分別ガイドブック』（制度は14ページ、点数は23ページ以降の品目）をご覧ください。

■利用状況 平成26年4月～平成27年1月末現在

地区	上野	伊賀	島ヶ原	阿山	大山田	合計
利用件数	1,298	171	51	98	81	1,699
主な収集品目	家具類	寝具類	趣味レジャー用品	家電製品類	その他	合計
点数	2,685	639	530	338	912	5,104

【問い合わせ】 廃棄物対策課

各支所振興課（青山支所を除く。）

※伊賀南部地域（青山支所管内）でも同様の事業を行っています。詳しくはお問い合わせください。（青山支所振興課☎ 52-1112 または伊賀南部環境衛生組合業務室☎ 53-1120）



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

災害時の心構えに

キラキラ Baby (2月13日)



▲普段からできる抱っこのコツや、災害時に片手を空けられる抱っこの仕方などを教わりました。



ハイトピア伊賀で、1歳までの子どもとその保護者を対象に「子育て支援事業キラキラ Baby」を開き14組の親子が参加しました。

家庭でできる防災訓練をテーマに行った今回は、レジ袋を使った簡易おむつや、大きめの紙を折って箱にした子ども用の簡易トイレなどの作り方を学びました。また、災害時に片手で荷物などを持てるように片方だけの手で赤ちゃんを抱っこする方法も練習しました。

本紙7ページの「ユニバーサルデザインを暮らしの中に」について、わかりやすく解説します。



こども広場

「ユニバーサルデザイン」

ユニバーサルデザインと
バリアフリー

わたしたちのまちには、いろんな人が暮らしています。障がいがある人、ない人、おとしより、若い人、すべての人にとって、暮らしやすいまちにしようという考えから生まれたのが「ユニバーサルデザイン」です。

みなさんはお店や駐車場でスロープになって入る入り口を見かけたことはありませんか？車イスに乗っていたり、足が不自由など、段差に注意が必要なののために設置されているもので、もともとはあった段差をなくすための工夫は、「バリアフリー」といいます。

まちや暮らしの中にある

ユニバーサルデザイン

シャンプーの容器にはギザギザがついています。これは、目の不自由な人だけでなく、すべての人が髪の毛を洗うときに、目を閉じていてもギザギザのないリンスと区別することができるようにという工夫です。

また、みなさんの家には、市役所から「広報いが市」が届いて

いると思います。広報紙の中の文章では、だれにとっても見やすいように、大きめの文字や見やすい形の字を使う工夫をしています。

わたしたちに、なにができるかな

みなさんの教室を思い出してください。同じ教室の友だちは、女の子、男の子、背の低い子、高い子：それぞれの個性を持っていて同じ人なんていませんよね。でも、そんなみんなが仲良く遊んだり、一緒に勉強したりできるのは、どうすれば仲良くすごせるかをたがいに思いやっているからではないでしょうか。どんな個性を持った人も区別なく暮らししていけるよう、みんなで考えようという気持ちは、大切な心の「ユニバーサルデザイン」です。

スロープや点字ブロックの上に自転車をとめない、電車やバスで妊娠している人やおとしよりに席を譲るなどの思いやりが、みんなが暮らしやすいまちをつくっていくことにつながります。まずは、自分ができる心のユニバーサルデザインを考えてみましょう。

【問い合わせ】 広聴情報課

☎ 22・96336 FAX 22・9617